



大分県議会議員 2025年 秋号
県民クラブ会報「県民ひろば」別府市版

原田たかし 会報

教育・福祉・労働

子どもたちが「生まれてきてよかった」、
高齢者の方々が「長生きしてよかった」と
思える社会を実現するために。

大分県議会議員 原田 孝司

発行責任者：大分県議会・県民クラブ 原田孝司

連絡先：別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所 TEL・FAX 0977(25)0011 E-Mail harada@ctb.ne.jp

佐藤樹一郎知事「物価上昇に負けない、県内企業の継続的な賃上げを後押し！」

～2025年大分県議会第3回定例会行われる～

9月4日(木)から24日(水)にかけて大分県議会第3回定例会が開催され、補正額108億3,378万円(累計7,139億2,722万円)の2025年度一般会計補正予算案など32議案が上程されました。

医療提供体制の確保として病床数の適正化に取り組む医療機関を支援する医療提供体制緊急支援事業(5億5,059万円)。畜産経営体の収益向上を図る畜産クラスター計画に基づく畜舎等の整備への助成を行う畜産収益力強化対策事業(7億600万円)などの新規事業の他、最低賃金改定幅を超える賃金引き上げをした企業への支援拡充、地域の見守りなどに取り組む給油所への施設整備費の助成、県立学校で使用するタブレット端末の更新などの事業が提案されました。

佐藤樹一郎知事は提案理由説明で、補正

に盛り込んだ最低賃金や労務単価の上昇を踏まえた対策について、「物価上昇に負けない継続的な賃上げの実現が求められている。県内企業の賃上げをしっかりと後押しし、県経済の持続的成長につなげていく。」と述べています。

その他、別府市石垣西にある大分県立南石垣支援学校を旧羽室台高校跡地(別府市野田)へ移転し、名称を「大分県立別府やまなみ支援学校」へと変更する条例改正案の提案。また、私たち県民クラブが設置を要請してきた夜間中学を、大分市にある大分県立爽風館高校内に併設し、名称を「大分県立学びヶ丘中学」として新設する条例改正案が提案されました。両校とも来春に開校します。

最終日に、全て可決されました。

大分県の経常収支比率 92.3%!

一部の自治体で著しい財政悪化が起きたときに、従前の制度では事態が深刻化するまで状況が明らかにならないという問題が判明しました。それをきっかけに、2009年4月、地方公共団体の財政状況を統一的な指標で明らかにし、財政の健全化や再生が必要な場合に迅速な対応を取るため「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(「健全化法」)が全面施行されました。

今定例会では、この健全化法に基づく指標の算定が報告され承認されました。報告によると、財政規模に占める借金にあたる公債費等の比率である実質公債費比率、将来の負担すべき負債比率である将来負担比率ともほぼ全国平均の水準です。

また、私が一番注目している経常収支比率。これは財政構造の弾力性を測定する指標で、低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示すものです。昨年度の大分県の財政の経常収支比率は92.3%で、一昨年度に比べ0.2%上昇しているものの、これも全国平均の水準となっています。ちなみに、私の地元である別府市の経常収支比率は97.4%(前年度比+0.3%)となっています。

大分県の財政状況として、概ね健全状態であると考えますが、これからも注視していきます。

折り鶴に込めた願い

原田孝司のシンボルマークは平和を象徴する折り鶴です。
背景には、教育・福祉・労働を表現する虹がかかっています。